

第3号 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 平成 28 年 9 月 2 日
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目 1 番 1 号 TEL06-4309-3268~9

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

中学校生徒会交流会（8/26）が開催されました



生徒会活動の充実を目的に、市立中学校の生徒会メンバーが集まり、「各校の生徒会活動」と「スマホの使い方」をテーマに、熱い交流会が行われました。

交流会では、各校が力を入れている取組みや活動を、自分たちが作成したパワーポイントの資料や動画などを使って発表してくれました。学校をよりよくするため、あいさつ運動や行事、集会の運営、いじめ撲滅運動など、どの学校も熱心に取組まれていることが伝わる発表でした。

自分たちの身の回りのことだけでなく、地域に出向いての清掃活動や、震災復興支援の募金活動、エコキャップの回収など、社会に向けて自分たちに何ができるのかを考えて実行している発表もたくさんありました。



その後、「スマホの使い方」というテーマで、他校の生徒とグループ討議をし、KJ法を使いながら活発な意見交流が行われました。「スマホは便利なものだが、ルールが必要」、「時間を決めて使おう」、「勉強しながらや自転車に乗りながらの使用など、“ながらスマホ”はやめよう」などの意見がありました。

そして最後に、11月に行われる大阪府生徒会サミットの代表校を投票によって選出し、今年度は新喜多中学校が代表校と決定しました。新喜多中学校には、自校の取組みはもちろんのこと、東大阪市の生徒会交流会の取組みを発信してもらいます。また、東大阪市の生徒会活動の活性化につなげてもらうため、府内の様々な取組みから学んだことを持ち帰って生徒会交流会で報告してもらう予定です。



スマートフォン向け位置情報ゲームアプリに係る注意喚起について

先日、スマートフォン向け位置情報ゲームアプリが配信され、各地でゲームに関連していると思われる事故やトラブル等が報告されています。本市の園児・児童・生徒においても、自転車に乗りながらや歩きながらスマートフォン等を操作することによる接触事故、階段等からの落下、危険な場所への立ち入りや不法侵入、また、個人情報の流出など様々な危険性が懸念されます。

各省庁より右のような注意喚起等、情報提供もされております。園児・児童・生徒の事故及び犯罪被害の未然防止につきましては、引き続き学校園を通じて注意喚起してまいります。

 消費者庁  総務省 News Release
平成 28 年 7 月 27 日

Pokémon GO に関する注意喚起

7月22日から、日本においても、スマートフォン向けゲーム「Pokémon GO」の配信が開始されました。
本ゲームは屋外で遊ぶことが前提のゲームであり、屋外において本ゲームで遊んでいる際に起こったと思われる事故やトラブルが国内外で発生しています。
画面を見ながら歩いたり、自転車・自転車等に乗ったりする行為（以下「ながらスマホ」といいます）は、自分が事故やトラブルの被害に遭うだけでなく、周りの人々にも、怪我をさせてしまったり、進行の妨げとなってしまう等々の迷惑を掛ける可能性があります。また、ゲームに夢中になるあまり、知らないうちに立入禁止区域等に侵入してしまう可能性もあります。本ゲームで遊ぶ際には、マナーを守り、周囲にも配慮しましょう。



内閣サイバーセキュリティセンターから **みんなへおねがい!**

「ポケモンGO」だけでなく、みんなの手に花はさまざまなアプリが伸びています。みんなが楽しくこのことをゲームを楽しむように、以下のことについて協力してね!

環境教育研修

今年度のトライアルスクール環境教育新規推進校4校に、各校における環境教育の取組みを報告していただきました。地域との協働による取組みや、自然災害と関連づける学習など、子どもたちが主体的に考え、より深い学びにつながる取組み報告でした。

その後、「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」【ESD】を専門に活動しておられる奈良教育大学准教授の中澤静男先生に、「東大阪をESD・環境教育で見つめなおす～教材開発のヒント～」と題してご講演いただきました。地域の特徴を活かした環境教育を進める観点から、地域を見つめなおす視点を整理していただきました。



子どもの主体的な学びにつながる地域教材づくりの工夫を、参加者で共有することができました。



近畿大学水上競技部による講演会



の 山本貴司監督

今年度より東大阪市と近畿大学水上競技部との交流事業が始まりました。交流事業とは、近畿大学水上競技部の一流選手等が、市立小学校へは講演会等、市立中学校と日新高校の水泳部へは技術講習会等を実施するというものです。7月にはアテネオリンピックで銀メダルと銅メダルを獲得した山本貴司監督がメダルを手に池島小と柏田小を訪れ、自分の体験や子どもたちに伝えたい思いをユーモアも交えて語ってくれました。その中で、「夢を持つこと大切さ」について話をしてくださいました。

「まず夢を持とう！そしてその夢を実現するために、素直な心を持ち、自分のできる努力を続けること。努力を続けることは簡単ではないけれど、夢があるから頑張れる！」心の中に蓄えてほしい言葉だと思いました。当日は実際にプールに入っただけの実技指導もしていただきました。大変丁寧なわかりやすい指導や、一流の泳ぎに触れることができ、子どもたちは感激していました。今後も東京オリンピックが開催される2020年までに全市立小学校を回っていただく予定です。まだ開催されていない小学校につきましては次年度以降調整させていただきます。



銀メダル体験(池島小)



実技指導の様子(柏田小)



超一流の泳ぎ



本物の銀・銅メダルです！